

【Aランク】最終ランク搾精 ～マッドサイエンティスト騎乗位～

はあ…ツ

あれだけ追い込んだのに、よく我慢できましたね。
なかなか出来る事じゃないですよ？

意識、飛ばしてませんか？

頷ける位なら、大丈夫そうですね。
まあ…声は出せないみたいですけど。

では、君は見事Aランクです。
おめでとうございます。

ここまで辿り着く検体はなかなかいません。
私も嬉しいですよ？

ここからは、Aランク精子の搾精といきましょうか。

搾精方法は…セックスです。
騎乗位で、君の精液が出なくなる最後の一滴まで搾り取ります。
私のおまんこで…ね。

君は…

ただただ快楽に身を委ね、頭空っぽにして、射精してくださいね？

人間は、視覚から情報を得る生き物です。
五感の中で、その割合は8割にも上ると言われています。
快楽の面だと、その限りではありませんが…
それでも、こうして私も脱いでしまった方が、君も興奮するかと。

ああでも、触らないでくださいね？
君は見るだけです。

自分に跨る目の前の雌の裸を見ながら、そのままちんぽ勃起させていてください。

ゴム…？

ゴムなど必要ありません。

私のおまんこで、生中出しして貰いますよ。

その方が、より優良で、研究のしがいがある精子を搾取できますから。

では…

んっ…ん…あ…ツ

はあ…っ

ふふ…

君のちんぽ、硬くて熱くて、とても具合が良いです。

このまま、一気に腰落としますよ？

んんんんっ

ああ…全部入りました…っ

ずっと我慢させられて膨れ上がったせいか、
おまんこの中、ぎゅうぎゅうに圧迫してきますね…っ

…もしかして、入れただけでイキそうになってます？

ふっ…

もしかして、童貞だった…なんてオチですか？

まあ、どちらでも構いませんが。

私にとって、君が優良な精子である事に変わりはないので。

んあっ…あっ

まだ、数回おまんこで擦ってるだけなのに、ちんぽビクつかせすぎです♡

ぬるぬるすぎる…？

そうですね…っ

君の精子が欲しくて、おまんこが強請っているのかも知れません。

んんっ

分かりやすく大きくなりましたね。

もしかして、喜ばせてしまいましたか？

単純ですね。

マゾの君でも、女が自分のちんぽに媚びる事を悦びとするだなんて…

生意気…ですよっ

んっ、んっ、あっ

腰速くされて、射精してしまいそうなんですよ？

私が君の精子を欲しがるのは、あくまで研究の為です。
自分の私利私欲の為にしているだけ。

そうでなければ、君のような射精我慢が趣味のマゾなんて、興味ありません。

ふいふ…

ショックですか？

でも、ちんぽが全く萎えないところを見ると、
余計に興奮しているのか、それとも快楽には抗えないのか…

まあ、私にとっては些末な事です。

ああ、言っておきますが、君の精子はとても大事だと感じていますよ？

なんせ、Aランクですから。

一滴も残らず搾り取るつもりなので、覚悟しててください…ねっ

ほらほら、我慢なんてせずに、私の中に大量に吐き出して…っ？

腰、がくがく震えて限界寸前なんですよ？

んっ…

なのに、まだ我慢しようとしてるんですか？

どれだけマゾなんですか君は…っ♡

あっ…んん

一番奥、子宮の入口で、ちんぽの先端ディープキスしてあげますよ♡

こうやって、奥に届く度に鈴口を締め付けてると、我慢出来なくなるでしょう？

ほら、ほらほら♡

イケ♡

マゾちんぽで我慢は終わり…っ

精子大量に中出ししましょうね♡

んっんんっ、あっ、あっ

イケ♡

出せ出せ出せ出せ、出せっ♡

んんんんんっ♡

勢い、すご…っ

あっ、くう…っ

いいですよ、もっと締め付けてあげます…っ♡

んああ…っ♡

はあ…っ

はあ…はあ…はあ…

我慢の分、凄い勢いでしたね…？

はあ…っ

びゅーびゅーって、子宮に吐き出される感覚がダイレクトに伝わってきましたよ？

私も軽くイってしまいました。

でも、まだ萎えていない。

安心してください。

1度絞っただけで終わらせる気はありませんから。

でもまずは、大事な大事な精子、シャーレに取っておかないと。

ほら、見ててください。

君の精子が私の中から出てくるところを。

どろどろすぎて、おまんことの間に白い糸、引いてますね？

んんっ…

力ぐって入れると、こんなに中から出てくる…っ

はあ…っ

Aランク精子…♡

とても愛しく思えますよ♡

さあ、続きといきましょうか♡

んんんう…っ

今度は、君が大好きな乳首を虐めながら、搾精してあげますね？

んっ、はあ…っ

両方の乳首、爪でカリカリ擦られるの、気持ちいいですよ♡

カリカリカリカリ…

ちんぽは本当に正直ですね？
乳首引っ掻いた瞬間、おまんこの圧迫激しくなりました♡

ほら、こうやって乳輪をぎゅって摘まんで、カリカリすると…

カリカリカリ、カリカリカリカリ

まるで授乳中の雌の乳首みたいに膨らんでくる♡

カリカリされながらの、おまんこ堪らないですか？
んっ…

声、全く抑えられてないですし、
女の子みたいに、ちんぽ奥に届く度に大きい声あげて…

可愛いですよ？
…マゾ検体さん♡

耳元で囁かれて、ゾクゾクしちゃったんですね♡
ちんぽ大きく跳ねました♡

乳首も速くしましょうね♡

カリカリ、カリカリカリカリ
カリッ、カリカリカリ

痛いですよ？
だって、もうこんなに尖って、摘まんでシコれる位
勃起してるんじゃないですか？これ。

試してみましようか？

指で摘まんで…

ぎゅううううう

ふふ、優しく摘ままれるかと思ったら、
思い切り摘まれて、驚きましたよね？
顎仰け反らせて、分かりやすい。

ぎゅっ、ぎゅっ、ぎゅうう…
ぎゅっ、ぎゅっ、ぎゅっ、ぎゅうううう

出る？
出ちゃう？

乳首とちんぽの刺激に耐えられないんですね♡

いいですよ？
また思い切り精子出しましょう？

次は、私のカウントダウンに合わせて…ね？

んっ、んうっ
まだですよ。

ちゃんと、0のタイミングでイクんです。
勝手にイク事は許しません。

君は私の検体なんですから、きちんとする事は守れますよね？

はあ…ツ

乳首苛められた儘、カウントダウンで射精なんて…
マゾ検体くんにとっては、ご褒美ですよ♡

さあ、いきますよ…ツ

10

9

まだ、まだ金玉で精子練り上げて。

8

7

6

ぱんっぱんに膨らんだマゾちゃんぽ、頑張れ♡

5

4

3

もうちょっと、もうちょっと♡

2

1

0

イけ♡

んんんんっ♡

あつ…はあッ

お、奥う…♡

奥にびゅーびゅー大量吐き…っ

んっ…

もっと、もっと出して♡

んあ…はあ…くうっ♡

ふ、ふいふ…♡

私の事、生意気に孕ませようとしてます？

ただの検体なのに、子宮に向けて精子の大量吐き…凄かったですよ？

んっ…

はあ…

おまんこ締めてないと、精子が出てきてしまいそう。

ん…？

お掃除フェラをしようかと。

まあ、君への労いです。

黙って掃除されていて下さい。

んぶっ…ぢゅるっぢゅるうぢゅるるるっ

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅるるっぢゅるう

ぢゅるっぢゅるるっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅうっぢゅるっぢゅるっぢゅるう

ぢゅるるるるるるっ

んんんっ

んっ、んんっ

んふー…

はあ…ツ

んれえー…

尿道に残ってる精子、勿体ないでしょう？
だから、お掃除フェラしたんです。

ふふ、まあ、半分は労いの気持ちもありましたよ？

では、君の検体業務はこれで終了です。

それにしても、まさかAランク精子を手に入れられるとは思っていませんでした。

これで、私の研究もまた進みそうです。
ご協力、感謝しますよ。

え…？
何の研究か、って…

それは…

トップシークレットです。

知りたいのなら、また検体として応募して来てください。
また次も、Aランクまで辿り着く事が出来たなら…
教えてもいいかも知れませんね？

私は何の為に精子にランクを付けて、
何の研究をしているのかを。

では、お疲れ様でした。

またのご応募、お待ちしておりますよ。

マゾ検体くん♡